

## 重要なお知らせ



©2015 Sony Corporation Printed in Malaysia

4-567-646-02(1)

## 警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。「スタートガイド」と「重要なお知らせ」、「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 安全のための注意事項を守る

「スタートガイド」と「重要なお知らせ」、「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。「重要なお知らせ」は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

### 定期的に点検する

コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、イヤークラスがヘッドホンにしっかり取り付いているかなどを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

### 警告表示の意味

スタートガイドおよび本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 注意を促す記号**
- 注意
  - 火災
  - 破裂
  - 感電
- 行為を禁止する記号**
- 禁止
  - 接触禁止
  - 分解禁止
  - ぬれ手禁止
- 行為を指示する記号**
- 指示

## 危険 下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

- 火の中に入れてはいない。**  禁止
- 温度が非常に高いところで充電したり、放置しない。**  禁止
  - 火のそば
  - 暖房器具の近く
  - 炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)など
- 本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。**  禁止

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

## 警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

- 充電式電池が液漏れしたときは**  禁止

**充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。**  
液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

- 運転中は使用しない。**  禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンに装着して使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。**  禁止

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工場現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。

- 内部に水や異物を入れない。**  禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。**  禁止

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。

- 分解や改造をしない。**  分解禁止

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。

- 乳幼児の手の届かないところに置く。**  禁止

イヤークラスなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。
- 本製品を布団などでおおった状態で使用しない。**  禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

- 雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。**  禁止

感電の原因となることがあります。

## 注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 大音量で長時間続けて聞きすぎない。**  禁止

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

- はじめからボリュームを上げすぎない。**  禁止

突然大きな音でて、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。

- 肌に合わないと感じたときは使用しない。**  禁止

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

- 使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。**  注意

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

- 本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。**  指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

- 本製品を医療機器の近くで使用しない。**  禁止

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。

- 本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す。**  注意

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

- 本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。**  禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

- 本製品に強い衝撃を与えない。**  禁止

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

- 不安定な場所に置かない。**  禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。

- 本製品は、国内専用です。**  指示

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

## 使用上のご注意

本製品は、ランニングやジョギング、ウォーキングなどのトレーニングやアクティビティのサポートを主な目的としたスポーツデバイスです。医療行為、研究、実験、また精度を要する業務・専門的な計測には使用できません。

### 本機の使用について

- 人が多い場所や周囲の音が聞こえないと危険な場所などでは使わないでください。
- 使用施設のルールに従ってご使用ください。
- 滝や川などでの遊泳中は使わないでください。

### 防水性能について

本製品は、JIS/IEC保護等級(IPX5/IPX8\*)相当の防水仕様となっています。水泳など水の中でお使いいただく場合は、以下のことにご注意ください。

- 必ず最適なサイズの水泳用イヤークラスを使用し、本製品をしっかりと装着してください。\*
- 水の中でご使用の際は、Bluetooth機能および一部の計測機能(心拍、気圧、GPSなど)は正しく動作しません。

\* 当社試験条件において、水泳用イヤークラスを装着し、水深2.0 mに30分沈めた状態で製品に故障がないことを確認しています。

\*\* イヤークラスが耳に密着していないと、隙間から水が入り、音が聞こえにくくなる場合があります。左右適切なサイズのイヤークラスをお選びいただき、しっかりと装着してください。水が入った場合には、耳に入れる部分を下にして手のひらに当て、5〜10回程度軽く叩くように水を抜いてください。それでも改善しないときは、イヤークラスを外し、本製品を乾いた布に当て、さらに5〜10回程度軽く叩くように水を抜いてください。

### 無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

#### 2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

- 2.4FH/XX1** この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

### 本機の取り扱いについて

- 以下のような場所に置かないでください。
- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)

### 本機を廃棄するときのご注意

 本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は  「本製品について詳しくはこちら」に記載されています。)

### 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これは本製品の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

### 温度上昇について

充電中または充電直後に本製品が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。

## 心拍の計測、トレーニングについて

### 本製品における「心拍」の表現について

一般的に、不整脈や期外収縮がない場合、「脈拍数」と「心拍数」はほぼ同じと言われています。そのため、「脈拍」を計測することにより、運動量の計測や「心拍数」を目安にしながら行う「心拍トレーニング」を手軽に行うことができます。本製品では、内蔵センサーが耳から「脈拍」を計測し、その結果を運動量の計測や「心拍トレーニング」に活用しますが、お客様にわかりやすくお伝えするため「心拍」という表現を使用しています。

### トレーニングについて

体調と安全に十分ご注意のうえ、無理せずにトレーニングを行ってください。トレーニング中に身体の異変を感じた場合は、ただちにトレーニングを中止し医師に相談してください。健康面に何らかの問題や不安がある場合は、事前に医師へ相談のうえ、アドバイスを受けてください。また、本製品には様々なバリエーションのトレーニングメニューが用意されており、各メニューは、それぞれのトレーナーなどによる考え、理論に基づいて構成されておりますが、いずれの方法も一つの目安と考え、無理せず自分に合ったトレーニングを行ってください。

